

<第119回 新幼児教育講座 実行委員長 挨拶>

私はずっと子どもの傍らで過ごす保育者の1人です。
研修をするならどんなことを学びたいか…を仲間と考えました。
春講からつながる「共感」をベースに、保育はAIにはできない営みということを実感できること、大人も子どもも「聞いて、観て、気づく」こと。

その先に、感じ合う、思い合う、つながり合う学びを願って今回の講座内容を企画しました。
対面ならではの、その場、その時、その人のおきる科学反応(感動)をご一緒に体験しましょう。
シンパシー・エンパシーを共に!!

実行委員長 伊藤 ちはる

9:45~9:55 カルチャー棟 小ホール

開講式

10:00~11:30

カルチャー棟 小ホール

【基調講演】ゴリラから学んだ生きる力 ~共感力~

俯瞰図番号：A4

ゴリラと人間の子どもの成長の仕方を比べてみると、人間はまず脳の成長を優先させる。

まず表情や行為を真似、指差しや体の接触を通して共感力を高めていくことが不可欠になる。今の教育が人間の能力をきちんと引き出しているか考えてみよう。



総合地球環境学研究所
所長 山極 壽一

15:15~16:15

カルチャー棟 小ホール

【アトラクション】笑って共感! 台本のない即興演劇

俯瞰図番号：B1

講師：即興パフォーマンス集団ロクディム

今回は笑顔あふれるアトラクション! 台本などを用いず「即興」で演劇を作り上げるロクディムの即興演劇公演を行います。先の展開が決まっていな中で、即興で演奏されるピアノの劇伴と共に、相手とのやりとり(違いや共感)を生かして紡がれる即興の物語は大笑い間違いなし! ぜひお楽しみください。



16:15~16:30

閉講式

13:00~15:00

分科会 センター棟

分科会 A

保育者と子どものリスクマネジメント

~安全・安心・安定をめくって~

いつ何が起ころかわからない社会状況の中で、保育者と子どものリスクマネジメントという視点を持って、園の安全環境について学びます。また、講座では身近な事例として園庭環境を取り上げます。わくわくどきどきを体験できる「やりたい」がいっぱいの園庭と、遊びのリスクについて理解を深め、子どもたちがたくましく育つ力と、自分自身を守る力をどう育てるかグループワークを交えながら考えていきましょう。

俯瞰図番号：A-3



元東京都教職員研修センター
授業力向上課
研修研究支援専門員
大竹 節子

分科会 B

こどももおとなも心地よい長時間保育とは

~預かり保育の魅力と可能性~

「長時間保育って大変…」そんな思いを抱えていませんか? 子どももおとなも心地よく過ごせる預かり保育の工夫や可能性を、事例を交えて一緒に考えていきましょう。

俯瞰図番号：F2



和泉短期大学
児童福祉学科 教授
松山 洋平

分科会 C

明日から活用できる運動あそび

さわだスポーツクラブが大事にしている、『こころ』と『からだ』の成長を元に作り出した、乳幼児期の発達に適した『運動あそび』。手遊びから始まり、リズム・鬼ごっこ・スタッキング遊びなど内容盛りだくさんです。

俯瞰図番号：B3



(有)さわだスポーツクラブ
取締役 社長
澤田 康徳

分科会 D

感じる・つくる・伝え合う

~造形表現がつなぐ心と心~

子どもは形や色を介して、自分の世界を広げたり誰かとのつながりを育んだりしています。その表現には、子どもなりの思いや考えが表されています。園での造形遊びは、子どもが自分自身を表現し、他者と関わる大切な時間です。保育者自身が表現する楽しさを体験しながら、子どもの造形表現を支えるための方法について一緒に考えていきましょう。

俯瞰図番号：E2



國學院大學 人間開発学部
子ども支援学科 教授
島田 由紀子